

リーディングDXスクール事業【実践事例】

防府市立大道小学校（山口県）

【取組内容】「学習支援ソフト」を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実



子どもたちが自分の考えを発表したり、クラスメイトのカードを比較したりすることで、対話的な学びを実現している。

また、様々な教科・学習活動場面で「シンキングツール」を用いて、想像しながら考えを広げたり、比較しながら考えを深めたりするなど、思考力の育成に取り組んでいる。



デジタルドリルの活用により、教師側からの課題のみならず、個々の学力（段階）に応じた取組を保障することで、学び直しの機会や未習の内容に取り組む機会、学習へ向かう意欲や関心を高める機会の創出を行っている。

